

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	就労支援事業所フリー
住 所	大阪府東大阪市長堂一丁目2番20号 陣内興産ビル3階
電話番号	06-6753-8111

事業所番号	2715006652
管理者名	田中
対象年度	4年度

(Ⅰ) 労働時間

①1日の平均労働時間が7時間以上		40	点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満			
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満			
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満			
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満			
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満			
⑧1日の平均労働時間が2時間未満			
①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点			

(Ⅱ) 生産活動

①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上		5	点
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賃金の総額以上			
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賃金の総額以上			
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上	○		
①40点 ②25点 ③20点 ④5点			

(Ⅲ) 多様な働き方(※)

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		35	点
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
②利用者を職員として登用する制度			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○		
④フレックスタイム制に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ⑤短時間勤務に係る労働条件			
就業規則等で定めている	○		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ⑥時差出勤制度に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○		
◎ ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○		
◎ ⑧傷病休暇等の取得に関する事項			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○		
小計(注1)	9	点	

(※) 任意の5項目を選択すること (注1) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(Ⅳ) 支援力向上(※)

◎ ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		○	35
参加した職員が1人以上半数未満であった			
参加した職員が半数以上であった			
◎ ②研修、学会等又は学会誌等において発表		○	
1回の場合			
2回以上の場合			
◎ ③視察・実習の実施又は受け入れ			
いずれか一方のみの取組を行っている			
いずれの取組も行っている			
◎ ④販路拡大の商談会等への参加		○	
1回の場合			
2回以上の場合			
◎ ⑤職員の人事評価制度		○	
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している			
◎ ⑥ピアサポーターの配置			
ピアサポーターを職員として配置している			
◎ ⑦第三者評価			
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。			
◎ ⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等			
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている			
小計(注2)	8	点	

(※) 任意の5項目を選択すること (注2) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(Ⅴ) 地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10
1事例以上ある場合:10点		

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	40
生産活動	5点		20点		25点		40点		5
多様な働き方	0点		15点		25点		35点		35
支援力向上	0点		15点		25点		35点		35
地域連携活動	0点				10点				10

合計	125	点
		/200点

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績 I ～ IV）

(I) 労働時間

前年度（令和4年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	15,849	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	3,919	人	利用者の1日の平均労働時間数	4.044	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	-------	----

(II) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々年度（3年度）

生産活動収入から経費を除いた額	198,945	円	利用者に支払った賃金総額	14,230,577	円	収支	▲ 14,031,632	円
-----------------	---------	---	--------------	------------	---	----	--------------	---

前年度（4年度）

生産活動収入から経費を除いた額	2,420,772	円	利用者に支払った賃金総額	17,026,316	円	収支	▲ 14,605,544	円
-----------------	-----------	---	--------------	------------	---	----	--------------	---

(III) 多様な働き方

前年度（4年度）における実績(全体表「(III)多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載

①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する

◎免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を活用した人数	名
※取得を進めた免許等:	
制度の活用内容:	

②利用者を職員として登用する制度

◎職員として登用した人数	名
◎うち1名は雇用継続期間が6月に達している	
◎うち1名は前年度末日まで雇用継続している	
※登用した日	年 月 日
勤務形態:	
就業時間:	時 分～時 分
職務内容:	

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

◎在宅勤務を行った人数	3 名
※実施した期間:	4月1日～3月31日
就業時間(在宅勤務):	9時30分～13時30分
職務内容:	パソコンを使ったDM送付作業

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制を活用した人数	名
※実施した期間:	月 日～月 日
就業時間(コアタイム):	時 分～時 分
職務内容:	

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に従事した人数	名
※実施した期間:	月 日～月 日
就業時間(短時間):	時 分～時 分
職務内容:	

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度を活用した人数	1 名
※実施した期間:	4月1日～9月30日
就業時間(早出の場合):	時 分～時 分
就業時間(遅出の場合):	10時30分～15時30分
職務内容:	施設外就労での軽作業

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制

◎時間単位取得を活用した人数	4 名
◎計画的付与制度を活用した人数	0 名
※取得した制度	有給休暇の時間単位取得 計画的付与制度
取得した期間:	月 日～月 日
取得日数・時間	14日 28時間

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等を取得した人数	1 名
※取得した内容:	精神的ストレスによる休暇
取得した期間:	12月12日～3月31日
就業時間:	10時00分～15時00分
職務内容:	軽作業

(※) 当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

(IV) 支援力向上

前年度（年度）における実績(全体表「(IV)支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研

◎研修計画を策定している	
◎研修実施回数 外部 3回/内部 2回	
対象職員数	5 人
うち研修受講者数	5 人
※研修名	障害のある方の就労支援について考える
研修講師	北口様、上田様、黒木様
実施日・受講者数	12月16日 1人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において発表している回数	2 回
※研修、学会等名	障がい者の就労に関する研修会
実施日	3月2日
※学会誌等名	
掲載日	月 日
発表テーマ	待防止における取組について

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している	
◎他の事業所の視察・実習を受け入れている	
※先進的事業者名	
実施日/参加者数	月 日 人
※他の事業所名	
実施日/参加者数	月 日 人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会等への参加回数	3 回
※商談会等名	大阪勤業展2022
主催者名	大阪商工会議所・堺商工会議所・大阪府商工会連合会
日時	10月12日
内容	大阪府内の中小企業が一堂に会する他業種型総合展示商談会。

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している	
◎当該人事評価制度を周知している	
人事評価制度の制定日	3年9月1日
人事評価制度の対象職員数	5 名
うち昇給・昇格を行った者	5 名
当該人事評価制度の周知方法	人事評価制度の公表

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している	
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポート研修」を受講している	
※配置期間	月 日～月 日
就業時間	
職務内容	

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	
※評価を受けた日	月 日
第三者評価機関	

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている	
※認証を受けた日	月 日
規格等の内容	

(※) 実績のうち1事例を記載

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	就労支援事業所フリー	事業所番号	2715006652
住所	大阪府東大阪市長堂1丁目2-20	管理者名	田中
電話番号	06-6753-8111	対象年度	令和4年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所:株式会社 free life 東大阪営業所</p> <p>実施日程:令和4年3月～令和5年3月</p> <p>実施した生産活動・施設外就労の概要: ベルトコンベアでのタッパーの組み立て作業 軽作業、検品・梱包作業 等</p> <p>利用者数:14名</p>	<p><活動の様子></p> <p>一日4時間の勤務を月22日～23日行っている。 ベルトコンベアを使って、プラスチック製品の梱包を行ったり、手作業でプラスチック製品の組み立てを行っている。 座り作業と立ち作業を交互に行うことで、皆様の負担を軽減するように努めている。</p>
<p><目的></p> <p>地域連携活動の狙い: 挨拶や身だしなみ等のマナーを実践し社会性の向上を図る。企業との相互理解と地域で暮らす方々への橋渡しを目的としている。 また、内職の技術や検品・梱包作業を身に付け活かすことで、自尊心が向上し自信をもって就労することができるよう支援する。</p> <p>地域にとってのメリット: 中小企業の工場では、コロナ渦の影響もあり、人材不足で生産性を十分に上げることができていない現状にある。そのため、人材を補強することは急務となっている。 そこで、意欲のある利用者を紹介することで、不足分を補完することができ生産性の維持・向上が図れる。</p>	  <p>ベルトコンベア でタッパーの組み 立て、梱包作業</p>
<p><成果></p> <p>実施した結果: 就労先のスタッフから挨拶やお礼などの声をいただくことで、必要な技術及びコミュニケーションの能力が向上してきている。また、仕事への意欲が高まることで責任感も生まれ、やりがいを感じられるようになってきている。</p> <p>課題点: 仕事の完成度など、まだ指導員の介入が必要な状態である。利用者個々の技術の向上、スピードにも差があり、個人の技術、能力を見える化し、適材適所に合わせた仕事の配置や配分を行っていく。</p>	  <p>軽作業をしている風景</p> <p>完成品を梱包</p>

連携先の企業等の意見または評価

<p>連携した結果に対する意見または評価:</p> <p>当初は不慣れで、一日のノルマを達成できていなかったが、現在は丁寧にスムーズにできるようになってきており、ノルマ達成できる日も増えてきている。 ベルトコンベアの仕事では、グループで行わないといけないが、お互いが自然と声掛けができるようになってきており、スピードの向上につながっている。 安定した作業があるので、今後も生産量を上げていただきたい。 挨拶や質問も以前に比べ積極的にしている。</p> <p>今後の連携強化に向けた課題:</p> <p>一日の生産量をもう少し上げていただけるように職場環境の改善を図っていきたいと思っています、</p>
--

連携先企業名	株式会社FreeLife	担当者名	末吉一博
--------	--------------	------	------